

# 兵庫県立大学 西脇市芳田地区との連携事例

## 自治体の課題(ニーズ)



【出典: 国土交通省 <https://www.mlit.go.jp/policy/shingikai/content/001518774.pdf>】

### 【どこから】

西脇市芳田地区の芳田自治協議会から依頼を受けての取組である。

### 【どんな課題】

同地区は兵庫県の制度である「空き家活用特区」の認定を受けており、「空き家」の利活用を進めるに当たって事前広域避難対策を兼ねた取組の効果と可能性を実証的に検討したい。

### 【参加者】

自治協議会、住民

## 研究成果(シーズ)の還元

平時の取り組みを災害対策と重ね合わせる



空き家があっても活用しにくい仕組みが変わりつつある



### 【実施内容例】

- ・住民アンケートを実施・回収  
アンケート例: 地域内課題、高齢者ケア、農地状況、空き家活用
- ・アンケートを通じて収集したデータを基に、今後の自然災害における被害、懸念、取組を整理

### 【活動成果】

- ・人口減少対策として、定住人口増加だけでなく関係人口増加を目指す指針設定 ex.新潟県長岡市山古志村との絆と交流
- ・南海トラフ巨大地震・津波想定による県内被害想定より、域内連携+域外連携の必要性を整合

## この連携に携わった研究者



防災復興政策研究科  
澤田 雅浩 准教授

### (研究者からのメッセージ)

都市部においては、巨大災害で発生した被災者の避難生活環境を確保することは極めて困難です。特に避難生活を送るための居住空間の確保は、地域外も含めて検討する必要があります。一方、地方部に目を向ければ空き家対策が喫緊の課題です。これらを重ね合わせ、平時のWell-Beingとも兼ね備えた対策の具体的な検討は、さまざまな地域課題の解決を一気に図るものとなります。

※ 研究者の経歴等は([https://researchmap.jp/swd\\_nid](https://researchmap.jp/swd_nid))をご参照下さい。